

No	分科会	基本政策	施策	ページ	区分	ご意見の内容	市の考え方	計画素案 [6.14時点]	計画修正案
1	総合・地域分科会	序論・基本構想	序論	6 7	意見	2040年を目標にした計画はいいのだが、人口が減ること、I T 技術の進歩だけしか考慮されていない。今後確実に進む、地球温暖化の問題は考慮しないのか。 特に、農林水産業は死活問題。今、対策をしないと一次産業は手遅れになる。	今回の総合計画では、団塊ジュニア世代が65歳以上の高齢者となる2040年を計画年度として設定し、今後の人口構造の変化を見据えたまちづくりを基軸に置いた計画としています。その観点で、人口減少局面においては社会が人に合わせる事が重要となるため、それに必要な技術活用に関する項目を新たに基本構想に追加しています。 ご指摘の地球温暖化についても考慮しており、P6～7の社会潮流において、気候変動に伴う災害の激甚化や脱炭素社会の実現について記載するとともに、基本計画の各政策の中でも考慮し、記載しています。		
2	総合・地域分科会	序論・基本構想	序論	12	質問	01 AI等の最新技術の活用 についての質問 今回の総合計画の素案はAI (ChatGPT) の答えも参考にしましたか？ 私も総合計画作りに活用に賛成ですが、今回示された30個の施策のうちAIと一致した割合はどのくらいありましたか？	素案作成に当たっては、A I の回答も参考にしています。 具体的には、今後の社会変化を調べるときや、行政用語を平易な言葉に改めるとき等に、A I を活用しました。 ご質問いただいた「どのくらい一致しているのか」という活用はしていませんので、A I の回答とどれだけ一致しているかは不明です。		
3	総合・地域分科会	序論・基本構想	人口ビジョン	13	意見	課題についてです。佐賀市人口が減少し、今佐賀市に住んでいる私達が経済的に苦しい状況であります。 物価高や重税が原因として考えられますが一番の人口減少が若者達が都市部へ流出したことが主な原因ではないかと推察します。 そこで若者達がこの佐賀市に戻ってきたり、他の地域から若者を佐賀市に定住したりする事がなにより重要になります。 私の考える政策としては日本の若者をUターン就職、雇用を率先している企業にまず一次金として補助金を与える。そして継続して雇用し、〇〇年継続してその企業に勤めたら二次金、もしくは大学、専門学校時の奨学金を免除にする。というも案の議題にあげてみてはいかがでしょうか？ ※外国人は除きます	人口増減の要因として、人の出生・死亡による自然動態と、市内への転入・市外への転出による社会動態があります。ご指摘の社会動態について、本市においては、大学進学や就職の年代では転出超過の傾向がある一方、30代～40代では転入超過の傾向があり、近年では転出増加の年もあれば、転入増加の年もある状況です。また、自然動態については減少傾向が続いており、2021年には971人の自然減となっています。 まずはこの増減要因を分析し、人口減少の幅を上向かせるために重点的にどういった施策を講じる必要があるのか、今回いただいたご意見も参考にしながら、総合計画の実施計画において検討します。		
4	総合・地域分科会	序論・基本構想	将来像	24	意見	第三次佐賀市総合計画の草案を読みましたが、全体的に理想論ばかりを並べ、具体的な数値目標が設定されていないので2024年現在と比べ2040年までに佐賀市をどれぐらいのレベルまでしたいのか全く判りません。 例えば2040年には佐賀市民の幸福感が全国1位になったとか、住みやすい街全国1位になったとか、具体的な目標値が欲しいです。AIの活用が盛り込まれていますが、AIの活用は手段であって目的ではないはずで、AIを活用して、現在〇〇がこれぐらいであったものが〇〇パーセントまで改善できた、AIの活用でこんなことが改善できたなど目標数値を示してほしいです。 全般的に抽象的な表現ばかりで、具体的な目標値が全く示されていないと思います。それともこれから具体的な数値は示されていられるのでしょうか？	具体的な数値目標については、総合計画の実施計画である総合戦略の中で示すこととしております。今回の総合計画が16年間という長期の計画であることから、この総合計画の中で数値目標を設定すると、指標が硬直化する恐れがあります。変化の早い現代において、そのような運用は適当でない判断し、数値目標は総合戦略の中で行うこととしております。		

No	分科会	基本政策	施策	ページ	区分	ご意見の内容	市の考え方	計画素案 [6.14時点]	計画修正案
5	総合・地域分科会	序論・基本構想	将来像	24	意見	<p>計画の素案には、佐賀城下から続く佐賀の歴史や文化、風土に対する視点が少なく、現代の全国的な課題解決を取り上げたものとなっているため、もっと佐賀市ならではの地域性を観察した計画にすべきであると考えます。</p> <p>佐賀市の平野部は地理的特徴として、低平地に城下町を築くため、たくさんの水路（クレーク）が作られ、その水文化は市民の生活と密接に関わり発展してきた歴史があります。</p> <p>そうした都市の基盤となっているものや、佐賀の中で発展してきた文化や歴史、風土を佐賀市の大切なアイデンティティとして基本に据えつつ、そうした地域資源をさらに磨いていく方策についても、しっかりと明記した方が良いかと思えます。</p> <p>地方都市として、変化しないことに価値があるものと、時代と共に変化するべきことを明確にし、「佐賀らしさ」の未来をわかりやすく指し示す計画となることを望みます。</p> <p>参考として、同じような文化を持つ柳川市の総合計画では、地域資源の掘割を軸に据えたまちづくりが明記され、地域らしさを市民の生活の質の向上へと繋げていく計画とされています。</p>	<p>「佐賀らしさ」の定義については、総合計画審議会の中でも大きな議論になったところであり、明確な定義を避ける方が良いと考えています。一人ひとりが考える「佐賀らしさ」があり、それを明確に定義することは「らしくないもの」を排除するように読み取れるので、素案のとおり、将来像のリード文に例示として記載することにどめたいと考えています。</p> <p>ご指摘の水路（クレーク）を代表する水文化につきましては、「佐賀らしさ」を代表するものとして、将来像のリード文の中に追記する形で整理します。</p>	<p>■将来像 『佐賀らしさでみんなが上を向くまち（仮）』 （中略） 豊かな自然に囲まれながら、都市と調和した便利な暮らしができること。 平坦で広い平野の上で、どこまでも続く広い空の下で、のびのびと過ごせること。 身近なところに温泉があり、美味しい食事に囲まれていること。 ときに街に出かけ、ときにスポーツや文化に夢中になる、そんなワクワクがたくさんあること。 暮らす人々がふれあい、つながり合う、あたたかい地域があること。</p>	<p>■将来像 『佐賀らしさでみんなが上を向くまち（仮）』 （中略） 豊かな自然に囲まれながら、都市と調和した便利な暮らしができること。 平坦で広い平野の上で、どこまでも続く広い空の下で、のびのびと過ごせること。 有明海に面し、嘉瀬川や筑後川が流れ、縦横にクレークが巡る、水の豊かさを感じられること。 身近なところに温泉があり、美味しい食事に囲まれていること。 ときに街に出かけ、ときにスポーツや文化に夢中になる、そんなワクワクがたくさんあること。 暮らす人々がふれあい、つながり合う、あたたかい地域があること。</p>
6	総合・地域分科会	序論・基本構想	土地利用	31	意見	<p>①都市ゾーン に次のような考えを追加</p> <p>●消防自動車が入りにくく消火活動に道幅が足りない4 m道路が多い地域の交差点の角切り拡大。及び消防車が活動しやすい長さ1 5 m程度幅5 m以上の道路区間を一定範囲内に確保して住民の火災時安心を高める。</p>	<p>基本構想である土地利用については、本市を4つのゾーンに区分し、山間部から海岸部までそれぞれの地域の特色を踏まえた土地利用の方針を位置付けています。当該方針は土地利用のグランドデザインを大きな視点で示すものであり、個別具体的な施策は明記しないものとしております。</p>		
7	総合・地域分科会	序論・基本構想	土地利用	31 32	意見	<p>あまり法律などに詳しくない普通の市民の意見です。</p> <p>川副地区は田園ゾーンなので、地区計画にはならず、今までどおり市街化調整区域で開発が制限したままにしてください。食料自給率の向上のためには田んぼは必要で、開発して工場や店舗などを作れば、元に戻れません。</p> <p>また物流地区構想をやめて下さい。同じように施設を作っても空家となります。現状をよく分かって下さい。</p>	<p>・川副町を含む田園集落ゾーンについては、ご意見のとおり市街化調整区域を示しており、農用地の保全を基本とし、集落機能の維持や地域振興を促す適切な土地利用を可能とするものです。そのため、市街化調整区域での開発許可については、農用地の保全を前提とした一定要件を条件とする運用となります。</p> <p>・現在、本市では、九州佐賀国際空港や有明海沿岸道路などの交通インフラが発達しつつある機会を好機と捉え、南部地域のポテンシャルを活かした拠点の形成を目指し、物流拠点構想の策定を進めています。</p> <p>この構想では、南部地域の地域経済の活性化はもとより、佐賀市の発展に繋げていくことを目的としておりますので、事業の進め方につきましては、関係する計画とも十分に調整を図りながら、官民連携での進め方等も含め、その目的が達成できるよう幅広く検討を進めていきたいと考えております。</p>		

No	分科会	基本政策	施策	ページ	区分	ご意見の内容	市の考え方	計画素案 [6.14時点]	計画修正案
8	総合・地域分科会	3文化・スポーツ	する・みる・ささえるスポーツの推進	39 40	意見	スポーツについてですが若者達が活躍できるよう人材育成、施設設備の充実を若者達の意見を聴いてさらなる発展、若者達の活躍をできるよう継続して行って頂きたい。	貴重なご意見、誠にありがとうございます。 本市においては、年代に関わらずできるだけ多くの方にスポーツに関わってほしいと考えております。 そのため、現在策定中のスポーツ推進計画の事前準備として、様々な年代の市民に対してアンケートを実施し、いただいた意見をスポーツ推進計画に反映させることとしております。		
9	総合・地域分科会	7コミュニティ	みんなが主役のまちづくり	48	意見	07 コミュニティ 『1 みんなが主役のまちづくり』について ・地域の主要な担い手である自治会協議会（自治会）について、項目を設けて、目指す姿を示して欲しい。これからの自治会運営に関する課題解決・計画が全くないとは考えられない。	総合計画素案（P47）の「2040年に目指す市民等の姿」の主なポイントに掲げる「地縁型組織」及び、ご意見をいただきました施策「みんなが主役のまちづくり」中の「市民活動団体」、これらの重要な団体の一つが自治会であると考えております。 総合計画は、長期的な視点での本市の目指す姿をお示しするものです。具体的に自治会とは記載しておりませんが、当該記載により、自治会を含む地域の団体とともに、市がまちづくりに取り組む姿をお示しできるのではないかと考えております。 なお、自治会協議会（自治会）は、市とは異なる独立した任意団体であることから、自治会運営に関する課題解決・計画については、当該団体で検討される事項と考えます。 今後、総合計画の具体的な実施計画として位置付けられる総合戦略の中で、市が重点的に取り組む事業として、自治会協議会（自治会）と協働して取り組んでいく内容について検討してまいります。		
10	総合・地域分科会	7コミュニティ	みんなが主役のまちづくり	48	意見	07 コミュニティ 『1 みんなが主役のまちづくり』について ・公民館について、「公民館のあり方の提言」を加味した長期的かつ関係各所との連携に基づく、長期的な個別計画を示して欲しい。短期的な視点として、現実の公民館活動の格差是正のため、積極的な改善指導等があればと思います。	公民館のあり方の提言内容を踏まえ、今後の「市民の生涯学習」、「地域コミュニティ活動」の拠点施設としての役割を果たせるように教育委員会と更なる連携、協力を努めます。 公民館活動の格差については、地域の多様なニーズに対応する活用を図るために、若い世代を取り込み、世代間交流を促すため、誰もが気軽に足を運ぶ「きっかけ」となる仕掛けづくりのための実証実験を行っています。 あわせて、営利活動等の施設利用料の見直しについても検討しています。 公民館の地域活動への支援についても全市共通とできるように、人員配置、運営体制を充実させることができるように検討を進めます。		
11	総合・地域分科会	7コミュニティ	多文化共生による暮らしやすさの推進	48	意見	07 コミュニティ 『3 多文化共生による暮らしやすさの推進』について ・生の声として、いろいろ書いてあるけど実感が湧かないのは、何故だろうか。本場の生の声（モニタリング）や身近な課題に対しての実際に寄り添った支援・対策、その効果を測定（アンケート調査等）してもらい計画に反映させ、実効あるものにして欲しい。在住外国人は、これからも増加すると思うので、相互理解が重要だと思います。まずは、コミュニケーションの場をもっと増やして欲しいです。	国際理解講座など、外国人と日本人がコミュニケーションを図り、相互理解を深めるための機会を提供します。また、講座参加者へのアンケート等により、事業効果や課題を把握し、多文化共生の取り組みを進めていきます。		